

「リウマチの原因を作ったのは自分、治すのも自分」  
心を見つめ直し完治に向けて治療を続けている方の手記。

## 「リウマチとヘルペスとの戦い 完治に向けての中間報告」

匿名希望 49歳

2016年3月5日

平成26年10月、目覚めと同時に右手首に痛みを感じ、「どうしたんだろう？寝ている時におかしくしたのかな？」と考えていましたが痛みがなかなかよくならないので近くの整形外科を受診しました。その時は薬をもらわずに湿布だけ処方してもらいました。それから、数週間後に両手首に痛みを感じ、その痛みが激痛に変わり自分でもこれは何か変だと感じるようになっていきました。その後も痛みは手を中心に度々出る様になり痛さもひどくなる一方でした。その度に整形外科を受診しましたが、はっきりとした病名もわからず痛み止めを処方されました。我が家では出来るだけ子供を中心に医者には頼らない生活を考えて生活していました。けれどもあまりの痛さに痛み止めを飲んでどうにかやり過ごしながらもやはり薬を飲む事には凄く抵抗がありました。

年末にかけて頻繁に痛みが出る様になって整形外科でリウマチかもしれないから血液検査をしましょうと言われましたが、健康には自信がありましたし、まさか自分がリウマチになるなんて思ってもみませんでした。しかし検査の結果はリウマチという診断でした。そう言われた時はショックでした。リウマチが大変な病気だという事はなんとなく解っていたからです。「年明けから薬による治療を始めましょう。」とリウマチの冊子を渡され読んで薬の選択をする様に言われました。「薬による治療？副作用？どうしよう？」頭の中は真っ白でした。家に帰り主人にその事を告げると猛反対でした。なぜなら主人の父もリウマチになり薬の副作用から咳に悩まされ最後には間質性肺炎になって亡くなってしまったからです。なので私よりも主人の方が一生懸命に治療の方法をネットで調べていました。

そして平成27年1月に松本医院に出会いました。松本先生は「リウマチで死ぬ事はないけど、薬の副作用で命を落とす事になるかもしれない」と言われました。まさに義父のことです。現代のお医者様はこの事実を解ってながらも副作用のある薬を出し続けているのです。そんな世の中に怒りを感じます。ホームページで松本先生の理論やたくさんの患者さんの手記を読みました。あ

まりの難しさに解らない事もありましたが、リウマチについての考え方が変わりました。何よりリウマチの原因を作ったのは自分でそれを治すのも自分だという事。治る事のない科学的に作られた薬に頼らず、漢方の力や鍼灸で治療する事を導き手助けしてくれる、松本医院に出会った事に感謝です。そして世の中にこんな事をする先生が存在している事に感謝です。

1月に治療を開始しましたが、痛みはひどくなり、痛みが出る間隔も短くなるばかりでした。朝調子が良くても夕方になるといきなりの違和感、そして痛みが徐々に強くなりどうにもならなくなり寝る事も出来ない日もありました。軽い痛みで終わる時もあるし、毎日違う所に痛みが出たりと、毎日、「今日はどこが痛くなるのだろうか？」と心配する日が続きました。けれど、どんなに痛みがひどくても「この痛みを通り越せば大丈夫、痛みには絶対に終わりがある」と思い頑張るしかありませんでした。また、それと同時にリウマチの原因となった自分の性格や思い当たる事を色々考えました。少しでも良くなるきっかけになればと思いました。しかしながら自分の性格を改めるのは少々大変な事だと実感しています。私の場合、几帳面度とにかく色々な事を気にし過ぎてストレスをたくさん溜め込んでいる様に思います。その結果、自分でステロイドホルモンを作ってしまったままです。自分に免疫を高める煎じた漢方薬はとても効くと思います。

漢方薬を煎じて飲む、お風呂に入る、お灸をする、アシクロビルを飲む、簡単そうな事ですが根気がいる事です。きっと面倒くさくなって途中で止めてしまう人もいるのではないのでしょうか？私のように遠方からの方はもっと大変な事だと思います。お金も時間もかかります。けれども松本医院に来られて治療をされた方なら解ると思います。松本医院に出会えた事の意味が。

松本医院初診から2、3ヶ月もすると痛みが出る間隔が長くなってきました。それと同時にかゆみも少しずつ出てきて良い方向へ向かっているのがわかりました。夏頃には痛みは1ヶ月に一回程度という位になっていました。もしかしてもう治ったかもしれないと思う気持ちで嬉しくなっていました。が、それと同時に心配な事が起きてしまいました。父親の癌の再発でした。治癒の方向に向かっていると思っていた癌の転移でした。それももう治療の術がないという最悪の結果でした。自分のリウマチが良くなっているという気持ちもあって自分の治療をおろそかにしてしまい、自分よりも父の事に気持ちも時間も使いました。その結果、良くなっていた痛みがひどくなり始めていました。秋に父が亡くなってしまい、他にも色々な事が重なり、ようやく自分のリウマチと再度向き合う事になったのは12月の事でした。

そして松本医院に電話した時は先生にももの凄く怒られました。私はなんて時間もお金も家族の協力も松本医院の方々の労力も無駄にしたのだろうと思いました。初心に戻り治療を続けて2ヶ月程経過しています。痛みの間隔が長くなりかゆみも出てきて、良い方向にきていると実感しています。まだまだ油断はできません。まだまだ戦いは終わりません。けれども先生を信じ自分を信じて進んで行こうと思います。まだ途中報告ですが、完治した時には手記を書かせて頂きたいと思います。